

ものづくり体験 2024

開催報告書

ものづくり体験 2024 事務局

長崎総合科学大学 日當明男

長崎総合科学大学(以下、長総大)は、多くの地元企業の協力を得て、今年も以下のように開催した。

イベント名：ものづくり体験 2024

主 催：長崎総合科学大学

後 援：長崎県、

九州西部地域大学・短期大学連合産学官連携プラットフォーム(QSP)

協力企業等：イサハヤ電子株式会社、中興化成工業株式会社、株式会社高山、自衛隊、小柳畳商店、みやざき整骨院

開催日時：2024 年 8 月 4 日(日)

午前の部 10:30~12:30 (受付 10:00)

午後の部 14:30~16:30 (受付 14:00)

開催場所：長崎総合科学大学附属高等学校

開催目的：小中学生に理工系分野の楽しさを伝え、興味関心を引き出すことで、県内の理工系人材の育成を目指す。また、家庭では難しい実験や体験の場を提供して、親子でのふれあいの機会とする。

想定参加者：小学生を中心に、園児等未就学児や中学生を含む

体験教室：全 7 教室、[]内は体験者の定員(午前,午後の部それぞれ)。

①ぷにぷにカプセルを作ろう[15 人]

②波佐見焼絵付け体験[30 人]*

③ミニカー組み立て教室[20 人]

④こどもロボット教室[24 組]*

⑤ミニ畳作成体験[20 人]*

⑥自衛隊ペーパークラフト、缶バッジ作成体験[20 人]*

⑦イライラ棒を作って遊ぼう[15 人]

⑧ロボットプログラミング中級編[10 組]

⑨e スポーツでつくろう[20 人]

* の体験教室は、午前の部および午後の部の 2 時間において、1 時間交代制で定員の半数を入れ替えて実施する。

また、④「こどもロボット教室」の 1 組を平均 1.5 人、⑧「ロボットプログ

「ものづくり体験 2024」 開催報告書

「ラミング中級編」の1組を平均1人と想定すると、午前及び午後の部の全体験教室の定員は、1回の体験教室の定員は186名。午前・午後を併せると372名。

1. 開催に向けたオンライン会議(6月25日(火))

(1)メンバー紹介

出展する体験教室の担当者の自己紹介と体験教室の概要紹介

(2)イベント予算の確認

- 外部の出展費は無料
- 体験教室の諸費用(消耗品、手伝いスタッフの人件費等)は出展部署が負担
- イベント運営費は本学が負担
運営費内訳：チラシ印刷、当日参加者の保険、運営スタッフの人件費等
- スタッフの昼食費負担
体験教室③：中興化成工業株式会社
体験教室⑦：イサハヤ電子株式会社
その他の体験教室と運営スタッフ：長総大

(3)案内チラシの確認

- 長崎 8,000 部、諫早 8,000 部
- 配布は小学校のみ

(4)特設サイト

- 長総大 WWW サーバ内に開設
- 体験登録フォームも準備

(5)利用教室について

- 長総大附属高校の教室を利用

(5)準備とイベント当日の日程確認

- イベント前日は附属高校のオープンスクールのため、前日の準備は15:00以降。当日も準備が必要のため、8:00~10:00に準備。
- 当日も準備時間を設けたため、午前の部の開始は10:30。

(6)7月中旬までの予定

- 使用教室(案)提示後に必要に応じた下見
- 出展教室のスタッフ数と必要な昼食数の確認
イベント当日は、外部業者に店出してもらって、カレーを提供(予定)

(7)その他

- 企業が出展する体験教室の手伝いスタッフについて

2. 体験教室等の概要

(1)出展体験教室(定員は、午前の部、午後の部のそれぞれの受入数)

①ぶにぶにカプセルを作ろう

担当者：中道隆広(長総大・生命環境)

定 員：15 名

対 象：小学・中学全学年、園児(保護者同伴)

概 要：二つの液体を混ぜて、ぶにぶにカプセルをつくります！

化学反応を体験できて、夏休みの自由研究に最適です。

注 意：低学年や園児が体験する場合は、保護者の補助が必要なのでご注意ください。

②波佐見焼絵付け体験[30 人]

担当者：山路学(長総大・マネジメント)、小林善輝(株式会社高山)

定 員：定員 30 名(60 分で半数ずつの 2 交代制)

対 象：園児(保護者同伴)、小学低学年、小学高学年、中学全学年

概 要：人気の波佐見焼にカラフルな切り絵を張り付けて、オリジナル器を作成しよう。コップ、皿、井など選べるよ。

注 意：絵付け体験後、波佐見で焼成し体験者に郵送でお届けします。

③ミニカー組み立て教室[20 人]

担当者：井村恵美、松浦智士(中興化成工業株式会社)

定 員：定員 20 名

対 象：園児等(保護者同伴)、小学低学年、小学高学年、中学全学年

概 要：数種類のパーツを組み合わせて、オリジナルミニカーを走らせてみよう。

注 意：特になし

④こどもロボット教室[24 組] *

担当者：下島真(長総大・知能)、原田康平(長総大)

定 員：定員 24 組(60 分で半数ずつの 2 交代制)

対 象：小学低学年(保護者同伴)

概 要：パソコンを使わずにロボットを思い通りに動かしてみよう！

注 意：1 組 2～3 人が良いので、親子か兄弟や、仲の良いお友達と一緒に申し込んでね。

⑤ミニ畳作成体験[20 人] *

担当者：山路学(長総大・マネジメント)、小柳竜士(小柳畳商店)

定 員：定員 20 名(60 分で半数ずつの 2 交代制)

対 象：小学低学年、小学高学年

概 要：日本の文化である畳。直接畳職人さんから教えてもらえるミニ畳をつくってみよう！畳のへりも多数準備しているので好きな柄を選べる！

注 意：小学低学年の児童には保護者同伴

⑥自衛隊ペーパークラフト、缶バッチ作成体験[20 人] *

担当者：山路学(長総大・マネジメント)、高山寛雄(自衛隊)

「ものづくり体験 2024」 開催報告書

定 員：定員 20 名(60 分で半数ずつの 2 交代制)

対 象：園児(保護者同伴)、小学低学年、小学高学年、中学全学年

概 要：航空自衛隊ブルーインパルス、F-35A のペーパークラフト、缶バッジを作ろう。

注 意：特になし

⑦イライラ棒を作って遊ぼう[15 人]

担 当 者：武次顕弘、近藤あや子(イサハヤ電子株式会社)

定 員：定員 15 名

対 象：小学低学年、小学高学年

概 要：半導体を使った電子工作で、針金に当たるとブザーがなるイライラ棒ゲームを作ろう。

注 意：必ず保護者同伴をお願いします。

⑧ロボットプログラミング中級編[10 組]

担 当 者：佐藤雅紀(長総大・知能)

定 員：定員 10 組

対 象：小学高学年

概 要：LEGO でできたロボットにプログラミングして、コースの線に沿って走らせよう！

注 意：機材の都合上、1 組にロボット 1 台となります。

⑨e スポーツでつくろう[20 人]

担 当 者：長郷繁雄(長総大附属高)

定 員：定員 20 名

対 象：小学高学年、中学全学年

概 要：電子機器を使った競技、娯楽を意味する e スポーツ。パソコンとキーボード、マウスを使って、作って遊んで楽しもう

注 意：一般的なサイズのマウスとキーボードを使います。

(2)体験教室以外の出展

①波佐見焼販売(株式会社高山)

②無料マッサージサービス(みやざき整骨院)

(3)出店外部業者

①カレー＆飲み物(株式会社ミライステラス)

スタッフの昼食を提供

②コーヒー(Take Lina)

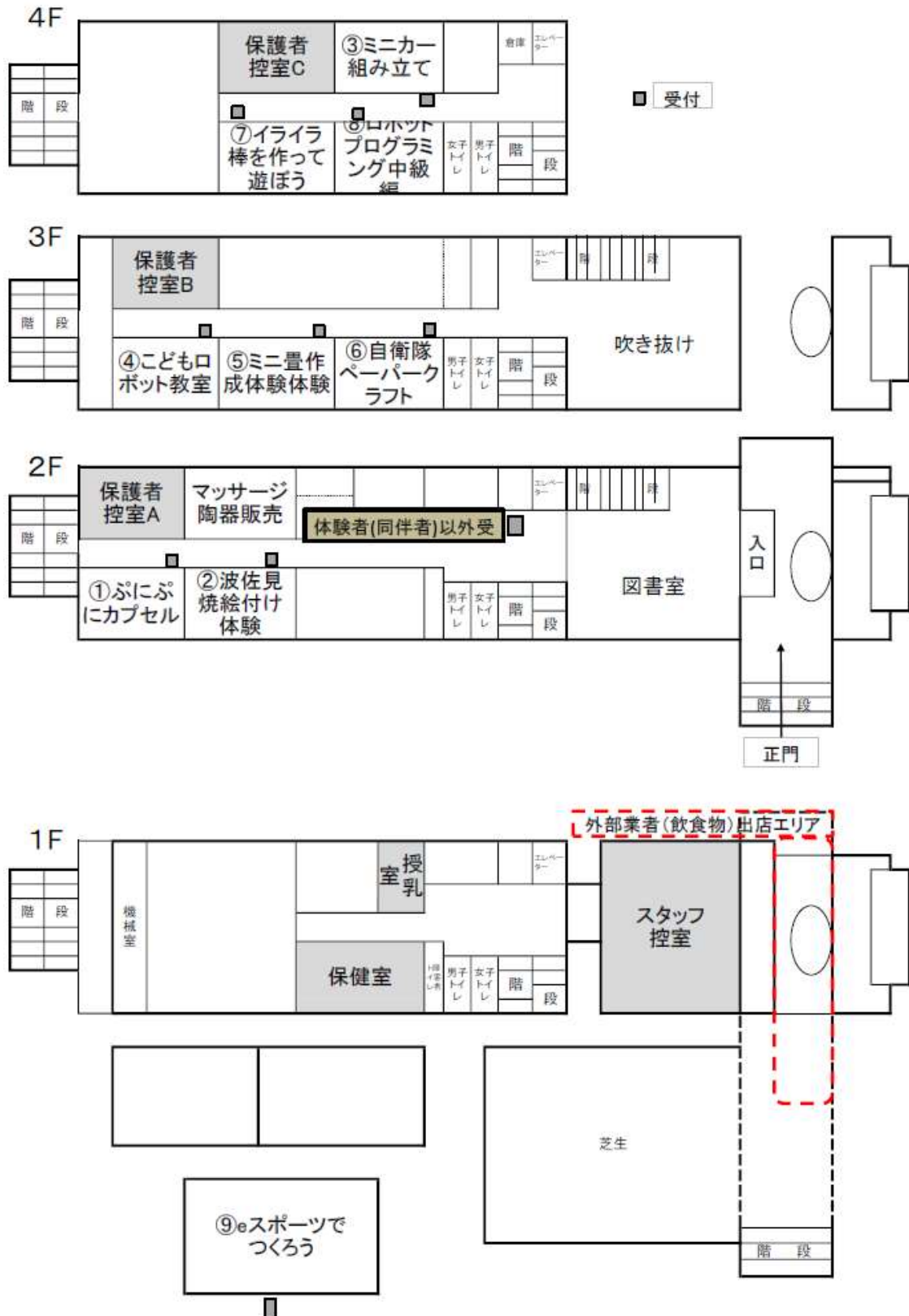
アイスコーヒーやパフェ

③飲み物(長総大・土居研)

アイスソーダ

「ものづくり体験 2024」 開催報告書

3. 長総大附属高内使用教室配置



「ものづくり体験 2024」 開催報告書

4. 参加登録状況と選考

当イベントの応募チラシには、

参加登録締切：7月22日(月)20:00

抽選結果連絡：7月29日(月)頃

としていたが、登録締切後に体験教室⑥「自衛隊ペーパークラフト、缶バッジ作成体験」が、60分2交代制で受け入れできるとの連絡を受け、仮登録者を対象に、7月28日(日)20:00を締切として、体験教室⑥の午後の部に対する追加募集を行った。この体験教室⑥を含めて、体験教室②「波佐見焼絵付け体験」と体験教室④「こども教室ロボット」は60分交代制であったが、応募の段階では午前か午後の何方かに応募してもらい、抽選の段階で前半か後半を決定して公開(当選メール配信)を行う。

また、参加登録締切からイベント当日まで2週間しかないので、第一希望を中心に抽選が終わった体験教室の抽選結果を7月26日に公開し、当選者へメールを送付した。その後、第2希望やキャンセル者の補充のために追加当選を随時公開し、当選者へメールを配信した。

(1)体験教室応募状況

7/30(火)23:00時点における応募状況は以下の通りである。

	応募数	体験者数
本登録	518件	802人
キャンセル	38件	59人
有効登録	480件	743人

なお、応募は個人で何回でも可能なので、応募数および体験者数ともに重複もあるので、応募状況や選考状況の表内の数はいずれも延べ数であることに注意する。以下では、有効登録の範囲内で集計する。

上表の有効登録(480件、743人)内での体験希望者の学年等は以下の通りである。

有効登録	体験希望者					
	未就学児	小学1～3年	小学4～6年	中学生	未記入	合計
480件	144人	364人	219人	12人	4人	743人

有効登録での第1希望の各体験教室の応募(登録)状況は以下の通りである。

体験教室[定員]	午前の部		午後の部		合計	
	登録数	体験者	登録数	体験者	登録数	体験者
①ぶにぶにカプセルを作ろう [15人]	68件	111人	28件	49人	96件	160人
②波佐見焼絵付け体験 [30人]	98件	175人	44件	66人	142件	241人
③ミニカー組み立て教室[20人]	35件	53人	19件	30人	54件	83人
④こどもロボット教室 [24組。想定36名]	18件	31人	10件	17人	28件	48人
⑤ミニ畳作成体験 [20人]	22件	36人	13件	13人	35件	49人
⑥自衛隊ペーパークラフト、缶 バッジ作成体験 [20人]	10件	17人	9件	9人	19件	22人

「ものづくり体験 2024」 開催報告書

⑦イライラ棒を作って遊ぼう [15 人]	41 件	61 人	19 件	26 人	60 件	87 人
⑧ロボットプログラミング中級 編 [10 組。想定 10 人]	15 件	15 人	7 件	7 人	22 件	22 人
⑨e スポーツでつくろう [20 人]	12 件	13 人	12 件	14 人	24 件	27 人
計【想定定員計 186 人】	319 件	512 人	161 件	231 人	480 件	743 人

また、有効登録での第 2 希望の各体験教室の応募(登録)状況は以下の通りである。ここで、第 2 希望においては「午前・午後どちらでもよい」と「第 2 希望の選択なし」の選択肢もある。

体験教室[定員]	午前の部		午後の部		どちらでも		合計	
	登録数	体験者	登録数	体験者	登録数	体験者	登録数	体験者
①ぶにぶにカプセルを作ろう [15 人]	40 件	62 人	32 件	48 人	21 件	35 人	93 件	145 人
②波佐見焼絵付け体験 [30 人]	37 件	57 人	36 件	64 人	34 件	66 人	107 件	187 人
③ミニカー組み立て教室[20 人]	27 件	52 人	12 件	16 人	13 件	25 人	52 件	93 人
④こどもロボット教室 [24 組。想定 36 名]	8 件	10 人	8 件	15 人	12 件	18 人	28 件	43 人
⑤ミニ畳作成体験 [20 人]	17 件	25 人	16 件	23 人	14 件	22 人	47 件	70 人
⑥自衛隊ペーパークラフト、缶 バッチ作成体験 [20 人]	15 件	21 人	4 件	7 人	4 件	7 人	23 件	35 人
⑦イライラ棒を作って遊ぼう [15 人]	17 件	23 人	19 件	22 人	11 件	16 人	47 件	61 人
⑧ロボットプログラミング中級 編 [10 組。想定 10 人]	9 件	11 人	8 件	11 人	6 件	7 人	23 件	29 人
⑨e スポーツでつくろう [20 人]	8 件	12 人	8 件	9 人	5 件	5 人	21 件	26 人
小 計	178 件	273 人	143 件	215 人	120 件	201 人	447 件	689 人
第 2 希望の選択なし							39 件	54 人
合 計							480 件	743 人

(2)選考状況

7/30(火)23：00 時点での各体験教室で選考された当選者数は次の通り。

体験教室[定員]	午前の部		午後の部		合計	
	登録数	体験者	登録数	体験者	登録数	体験者
①ぶにぶにカプセルを作ろう [15 人]	9 件	15 人	7 件	15 人	16 件	30 人
②波佐見焼絵付け体験 [30 人]	10/10 件	18/20 人	11/11 件	20/20 人	42 件	78 人
③ミニカー組み立て教室[20 人]	17 件	22 人	16 件	22 人	33 件	44 人
④こどもロボット教室 [24 組。想定 36 名]	12/10 件	23/14 人	11/10 件	19/15 人	43 件	71 人
⑤ミニ畳作成体験 [20 人]	12/14 件	20/20 人	17/11 件	18/19 人	54 件	77 人
⑥自衛隊ペーパークラフト、缶 バッチ作成体験 [20 人]	11/11 件	17/16 人	6/8 件	10/9 人	36 件	52 人

「ものづくり体験 2024」 開催報告書

⑦イライラ棒を作って遊ぼう [15 人]	14 件	18 人	14 件	18 人	28 件	36 人
⑧ロボットプログラミング中級 編 [10 組。想定 10 人]	10 件	10 人	11 件	11 人	21 件	21 人
⑨e スポーツでつくろう [20 人]	16 件	18 人	14 件	16 人	30 件	34 人
小計【想定定員計 186 人】	156 件	230 人	147 件	212 人	303 件	443 人
いずれの体験教室にも落選					177 件	300 人
合 計					480 件	743 人

※ 60 分交代制の体験教室では、「前半数/後半数」と表す。

5. イベント当日参加状況

7/30(火)23:00 以降、イベント前日までに以下のキャンセルがあった。

13 件 19 人

その内訳は、以下のとおりである。

②波佐見焼絵付け体験	午後(後半)3 件 4 人
③ミニカー組み立て教室	午前(前半)1 件 2 名
④こどもロボット教室	午前(前半)1 件 3 人、 午前(後半)1 件 1 人、 午後(後半)1 件 1 人
⑥自衛隊ペーパークラフト、缶バッジ作成体験	午前(後半)1 件 2 人
⑦イライラ棒を作って遊ぼう	午後 1 件 2 名
⑧ロボットプログラミング中級編	午前 2 件 2 人、午後 1 件 1 人

これらのキャンセルに対して、可能な限り追加選考を行い、当選者へ連絡した。

また、イベント当日においても、

4 件 6 人

のキャンセルがあった。

結果として、イベントに参加した体験者や同伴者数は以下のとおりである。

体験教室[定員]	午前の部		午後の部		合計	
	同伴者	体験者	同伴者	体験者	同伴者	体験者
①ぶにぶにカプセルを作ろう [15 人]	10 人	12 人	8 人	15 人	18 人	27 人
②波佐見焼絵付け体験 [30 人]	13/12 人	19/20 人	15/10 人	19/17 人	50 人	75 人
③ミニカー組み立て教室[20 人]	25 人	19 人	20 人	20 人	45 人	39 人
④こどもロボット教室 [24 組。想定 36 名]	17/8 人	25/7 人	15/9 人	19/10 人	49 人	59 人
⑤ミニ壺作成体験 [20 人]	14/17 人	18/20 人	17/14 人	17/17 人	62 人	72 人
⑥自衛隊ペーパークラフト、缶 バッジ作成体験 [20 人]	11/8 人	13/7 人	7/8 人	10/9 人	34 人	39 人
⑦イライラ棒を作って遊ぼう [15 人]	19 人	18 人	18 人	18 人	37 人	36 人

「ものづくり体験 2024」 開催報告書

⑧ロボットプログラミング中級編 [10組。想定 10 人]	9 人	10 人	9 人	8 人	18 人	18 人
⑨e スポーツでつくろう [20 人]	15 人	18 人	18 人	15 人	33 人	33 人
小計【想定定員計 186 人】	178 人	204 人	168 人	194 人	346 人	398 人
合 計	382 人		362 人		744 人	

※ 60 分交代制の体験教室では、「前半数/後半数」と表す。

6. イベントスタッフと運営状況

(1) イベントスタッフ

イベントの運営に携わったスタッフは以下の通り。

◎イベント準備(8/2,3)

	本部	体験									合計
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	
大学教職員	1 人	1 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	1 人	0 人	3 人
附属校教職員	1 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	1 人	2 人
地元企業	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
大学(院)生	0 人	3 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	9 人	0 人	12 人
高校生	45 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	45 人
合計	47 人	4 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	10 人	1 人	62 人

◎イベント当日(8/4)

	本部	体験									合計
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	
大学教職員	8 人	1 人	1 人	0 人	2 人	0 人	0 人	0 人	1 人	0 人	13 人
附属校教職員	1 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	1 人	2 人
地元企業	5 人	0 人	2 人	4 人	0 人	3 人	3 人	9 人	0 人	0 人	26 人
大学(院)生	2 人	4 人	0 人	0 人	3 人	0 人	0 人	3 人	7 人	0 人	19 人
高校生	18 人	0 人	7 人	0 人	0 人	2 人	1 人	0 人	0 人	7 人	35 人
合計	34 人	5 人	10 人	4 人	5 人	5 人	4 人	12 人	8 人	8 人	95 人

(2) イベント運営

体験教室内の運営は体験教室のスタッフに任せていたが、イベント全体に関わる運営は本部が担っていた。本部が担った主な業務は以下の通り。

◎体験教室の受付

体験教室の受付は、それぞれの体験教室の前で行い、その業務は基本的に本部に配置された高校生が担った。

◎会場入り口での上履きへの履き替えや体験教室への誘導

会場が高校の校舎なので、上履きに履き替えてもらう必要があり、履き替えた外履きを入

「ものづくり体験 2024」 開催報告書

れる袋(レジ袋)を用意し、それを会場入り口にて来場者に配布した。また、入口から体験教室までの案内図も配布し、誘導も行った。これらの業務は主に高校生に担ってもらったが、大学職員 1 名、大学生 1 名、高校教員 1 名もサポートした。

◎会場駐車場での誘導案内

会場に隣接する駐車場には 150 台を超える駐車スペースがあるが、このスペースを有効に活用するために、駐車場への案内と個々の駐車スペースへの誘導を行った。これらの業務は大学職員 3 名が常時担当した(実際の担当者は 4 名。1 組 2 名は午前・午後を分担)。

◎保健室・授乳室

高校の保健室とカウンセラー室を借用して、当イベント中の保健室と授乳室として利用した。保健室では特に熱中症への対策を重視した。ここには、大学職員 1 名を配置した。

◎記録

当イベントの実施状況を記録するために、イベント開催中に会場内で写真を撮ってもらった。そこで撮られた写真は本報告でも活用している。この業務には、大学職員 1 名を配置した。

7. 開催当日のイベント保険

契約保険会社：AIG 損害保険株式会社

保険契約日：7 月 26 日(金)

被保険者数：800 名

保険料：20,000 円

8. 体験等風景（個人特定を避けるため、一部加工しています）



「ものづくり体験 2024」 開催報告書

		
体験④	体験④	体験⑤
		
体験⑤	体験⑥	体験⑥
		
体験⑦	体験⑦	体験⑧
		
体験⑧	体験⑨	体験⑨
		
波佐見焼販売	無料マッサージ	飲食物出店 1
		
飲食物出店 2	飲食物出店 3	飲食物出店 3

「ものづくり体験 2024」 開催報告書

9. 当日参加者の感想：参加後の Google フォームやアンケート用紙による(267 件回収)

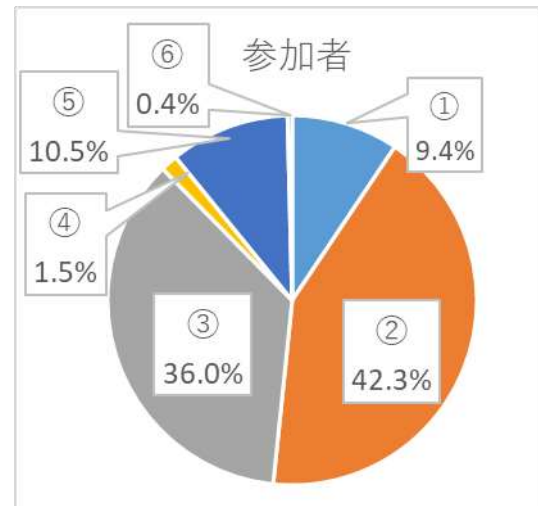
一部の小中学生や未就学児の回答は、保護者が代わって回答し、親としての感想もある。

◎設問内容

- (1) 回答者の属性(園児等未就学児、小学低学年、小学高学年、中学生、保護者)
- (2) 参加した時間帯(午前、午後)
- (3) 体験(参加)した体験教室
- (4) 楽しかったか(5段階。0：つまらなかった、4：とても楽しかった)
- (5) 楽しかった所、つまらなかった所(記述式)
- (6) 将来、科学系の仕事に就き(就かせ)たいか(5段階。0：全然思わない、4：強く思う)
- (7) 感想

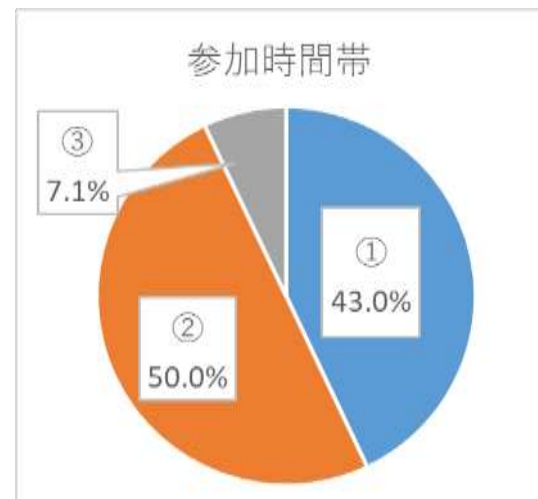
(1)回答者の属性

属性	人数	割合
①園児等未就学児	25 人	9.4%
②小学低学年	113 人	42.3%
③小学高学年	96 人	36.0%
④中学生	4 人	1.5%
⑤保護者	28 人	10.5%
⑥未記入	1 人	0.4%
計	267 人	100%



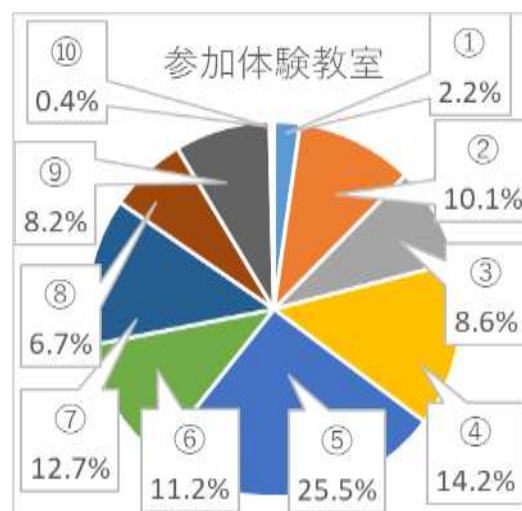
(2)参加した時間帯

参加時間帯	人数	割合
①午前	124 人	45.4%
②午後	141 人	52.8%
③未記入	2 人	7.5%
計	267 人	100%



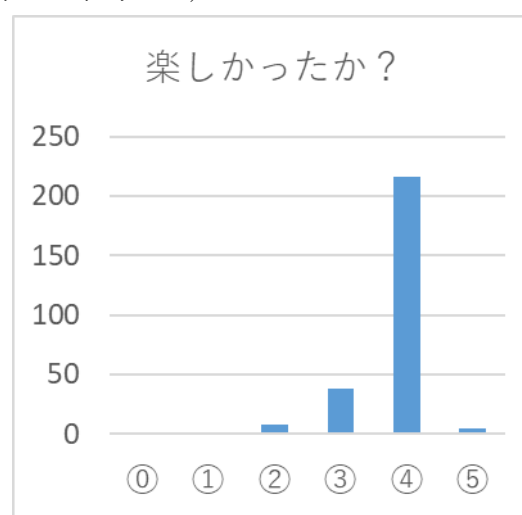
(3)体験(参加)した体験教室

体験教室	人数	割合
①ぶにぶにカプセル	6 人	2.2%
②波佐見焼絵付け	27 人	10.1%
③ミニカー組み立て	23 人	8.6%
④こどもロボット	38 人	14.2%
⑤ミニ畳作成	68 人	25.5%
⑥自衛隊ペーパー	30 人	11.2%
⑦イライラ棒	34 人	12.7%
⑧ロボット中級編	18 人	6.7%
⑨e スポーツ	22 人	8.2%
⑩未記入	1 人	0.4%
計	267 人	100%



(4)体験教室は楽しかったか？(5段階。未記入を除いた平均3.78)

楽しかったか？	人数	割合
①全然つまらなかった	1 人	0.4%
②つまらなかった	0 人	0.0%
③ふつう	8 人	3.0%
④楽しかった	38 人	14.2%
⑤とても楽しかった	216 人	80.9%
⑥未記入	4 人	1.5%
計	267 人	100%



※「①全然つまらなかった」の回答は、体験教室未記入の保護者でしたが、次設問にて、「こどもが夢中で取り組んでいました」との回答であった。

(5)どういう所が楽しかったですか。つまらなかったですか。

◎体験者の意見(一部)

体験教室	楽しかった所
①	全部。特に色水を液に垂らして固める所。 ぶにぶにカプセルが大きいものや小さいもの、いろんな形が作れるところが楽しかったそうです。 好きな色をつけて塩化カルシウム水溶液中に垂らす所が楽しかった
②	自分で作って全部楽しかった 波佐見焼のシールを水につけたら、2つに分かれる所がおもしろかったです。 自分の食器が作れるところ
③	夏休みの工作になります。 車をカッコよく作れたところ ねじをつくる所がたのしかった。あと、ふだんは、つくらないので、はじ

「ものづくり体験 2024」 開催報告書

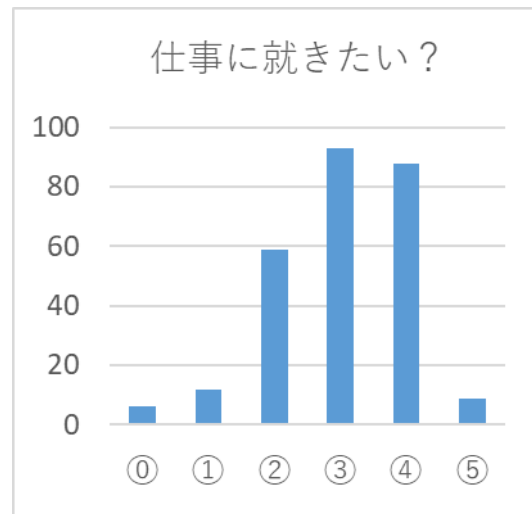
	めてで、おもしろかった
④	自分の組み合わせた通りにロボットが動く所 なんかブロック？みたいなやつをならべるのが、とても楽しかったです。 むずかしかったけどたのしかったです。 命令したのがしっかり動いていたから。
⑤	タッカー（おおきいホッチキスが楽しかったようです） タッカーをつかってさぎょうするのがたのしかった。へりのはじっこをおりま げるのがむずかしかった。 できたときのたっせいかん。作っているとき。へり選び。
⑥	ヒコーキをつくった。 きるのがむずかしかったけどたのしかった 自分のペースで作れる。家では出来ない工作が作れた。
⑦	つくるときとれんしゅうするところがとてもたのしかったです。 はりがねをじゆうにまげるのがたのしかった 自分で作った物がちゃんと動いたこと。
⑧	ロボットがふしぎにうごくところがおもしろかった。 いろいろためして調整するのが楽しかった。 他の人と競争して一番だったこと。調せいがおもしろかった。
⑨	自分でゲームを作れる。スイッチでもゲームができる。 コースを自由につくれて楽しかった。他の人とのプレイも楽しかった。 自作のゲームは初めてだった。自宅でもチャレンジしたい。

◎保護者の意見(一部)

楽しかった所
難しい技術がいらなかったなので、子どもが楽しく自由に作業していた
ネジ山を作るところ 形が出来上がっていくところ
プログラミングとは思っていませんでしたが、子供が一所懸命考えてくれたこと
大人も楽しめる。思った通りに動く時、動かない時
畳の作り方を体験する機会はなかなかないので、親子で楽しむことができました。
小学1年生でも1人でやれ、年中の子ものりではるのを1人でやれて、自分たちでできた！というのが良かった。親としても缶バッチの作り方を知らなかったなので、勉強になりました。
失敗してもすぐやり直せる場所。繰り返しでプログラムが楽に(短く)なる場所
したことのないゲームだった。キーボードでの操作に慣れておらず苦戦していたが、慣れたところで創造性をどう持たせるかが課題だと思った。
小さい子でも製作できる工程でよかった。保護者目線で言えばシールではなく自由に絵を書くと思い参加したので、少しがっかりでした。
教室内にいたスタッフの方、学生さんでしょうか？最初にやり方を教わっただけで、あとは放置状態。どちらかといえば、無愛想な表情で、正直居づらい空間でした。この体験がどんな科学に結びついているのか地元産業への関心に結びつけたいのか、イベントの趣旨がわかりかねます。このような体験を無料でさせていただくことは大変感謝しておりますが、主催者の楽しませたいという気持ちがあまり伝わりませんでした。

(6)将来、科学系の仕事に就き(就かせ)たいと思うか？(5段階。未記入を除いた平均 2.95)

就き(就かせ)たいと思うか？	人数	割合
①全然思わない	6 人	2.2%
②あまり思わない	12 人	4.5%
③よくわからない	59 人	22.1%
④少しは思う	93 人	34.8%
⑤とてもそう思う	88 人	33.0%
⑤未記入	9 人	3.4%
計	267 人	100%



(7)感想(今後への改善や要望も含む)

◎体験者の感想(一部)

感想(今後への改善や要望も含む)
また参加したいです。
大きなぶにぷにカプセルを作りたかった。
操作がむずかしかった
つぎは、もっと大きいたたみをつくってみたい。
来年はもっといろいろな体験をしたいです！
年に 10 回くらいやってほしい
自衛隊のことをもっと知りたいとおもった。
ちょ～楽しかったです～
いっぱいしゃべれて電気のことも興味を持った。たのしかった。

今後への改善や要望
どちらかという、プログラミングが強い気がした。ロボットを作るのかと思ったが。結果、楽しかったんで、良かったです。
タイヤが回るようにしてほしい。
へりのしゅるいがもっと多いほうがよかった。
色がつけたらもっと楽しかった、と思う。
もっと時間がほしかった。

◎保護者の感想(一部)

感想(今後への改善や要望も含む)
楽しかったです。来年も参加したいと思いました。
スタッフの皆さん、とても親切でした。参加して良かったです。ありがとうございました。
子供達が楽しそうで良かった。
また参加したいです。もっと回数が多いといいなと思いました。
自宅ではなかなかできない体験だったので良かったです！ありがとうございました。
高校の校内も見学することができて貴重な体験となりました。素敵な時間を準備して頂き、ありがとうございました。また来年も参加したいです。

「ものづくり体験 2024」 開催報告書

家でもこの機械を買いたくなりました。【体験④】
ありがとうございました。家にこのプログラミング教材がほしいです！【体験⑧】
無料マッサージも体験でき大満足です。子の付き添いだけでなく、親も楽しめました。次回もぜひ参加したいです。
なかなか半導体に触れる機会がないので、良い体験でした。ゲームもさせていただき、楽しい企画をありがとうございました。
親子でワイワイしながら取り組めて楽しかったです。ありがとうございました。

今後への改善や要望
できた作品と一緒に記念写真をとれるコーナーがあれば、夏休みの思い出に残ると思います。ありがとうございました。
予約時間の前に行ったのに 15 分以上待ち時間があつたので、そういった待ち時間に見ることができる展示や、当選しなかった兄弟が参加できるクラフト教室などがあれば嬉しいなと感じました。
ねじのみぞを作るなど、やったことのない事だったので、楽しそうでした。ミニカーが真っ白だったので、色の付け方などがあればよかったかも。あと、タイヤがはずれやすかった。
午後の後半でしたので、メールに「15 時半～」と書いてあればもっとわかりやすかったと思います。
自由研究に使えるとチラシに書いてあつたので参加したが、どういう感じに使うかアドバイスをもらえたら嬉しいです。イベントの開催、ありがとうございました。
学生さんともっとふれあえたらと思いました。
説明書の説明をもう少し分かりやすくしてほしい。
仕組みなどもせっかくなら座学でよいので、教えてもらえればと思いました。【体験③】
使った教材の販売（パンフ）の設置等があれば良いかも。少し時間が短いと感じました。【体験④】
ソーダの販売があつたようですが、販売場所もわかりづらく、販売するのであればもっといろいろなものがあれば嬉しかったと思いました。せっかくなので、波佐見焼の歴史とか製法とか、そのような資料や展示があれば良かったのでは？と思います。あれでは、ただの作業だったので…夏休みの製作課題にはならないかなとかんじました。
場所が狭すぎる。人が多すぎてお皿を割らないかヒヤヒヤした。道具が足りない参加者もいた。お祭りみたいに地域参加型にするともっと沢山の人が集まって楽しそうだと思います。
一般の畳の作り方の説明や実践も見なかったです。今日のミニ畳との違いを知りたいです。
当日受付も可能な体験型があると嬉しいです。
子どもの興味関心、長所短所が改めてわかりました。高校生達については『高校生活楽しそうだ』は見取れたので、個人的には保護者向けのオープンスクールといった視点でした。ただもう少しイベント運営としての役割分担(案内誘導や、楽しませたいのか披露したいのか)をはっきりされたが良いかも。その意味では保護者が横についているのは逆にプレッシャーで申し訳なかったなと思います。
今回、講座の当選メールが 7 月 27 日に届いていたのに、当日受付をしようとしたら名前がありませんでした。小柳畳商店の方が、快く受け入れてくださったので参加できました。本登録完了メールでキャンセルをした覚えもなかったのですが…。

10. イベントスタッフへのアンケート (Google フォーム) 結果 (32 件回収)

以下の設問内容のアンケートを取ったが、ここではそれらの回答の一部の(2)(3)をまとめた改善すべき点と改善案及び感想を整理する。

◎設問内容

- (1) 担当部署
- (2) 担当部署内で改善すべき点と改善案
- (3) 担当部署外で改善すべき点と改善案
- (4) 感想

●改善すべき点と改善案

◎体験教室において

改善すべき点と改善案
特にありません
人数が多く、道具が不足した。持ち込む道具を増やすか、人数を絞ったが良いと感じた。
説明などを動画にすることで、当日のスタッフの負担は少なくなると思います。
参加者にライントレースのタイムを記載した賞状を配布すれば喜ばれたかも
自分から積極的に教えてあげること
挨拶が少なかった
もう少し人員を増やしてほしい

◎本部運営において

改善すべき点と改善案
特にありません
アンケートに誤字があった。来場者のリストが非常に見つらなかった。
体験者名簿に振り仮名があると良い。
カレーは大人には美味しかったのですが、こどもにはちょっと辛すぎたような気がします。
ケータリングの場所がわかりづらく、スタッフ用に準備されてた印象でした。
来場者から 1 部(前半)と 2 部(後半)の変更の連絡が来ていない。との指摘があり困惑しました。
(高校に掛ける負担が大きいので、)出展側に使用料を徴収するなどを検討されても良いかもしれません。
オープンキャンパスや文化祭の案内のチラシを配布する
案内のプリント配りにあんなに人数はいらない。
関係者かどうかの違いがわからずに戸惑っていたこと
e スポーツの体験場所の案内に関しては場所が離れているということもあるので、直接案内をして連れていくべき
2 階から 3 階への壁沿いの階段の手すりの格子の幅が広いので小さい子どもには危険です。手すりにネットをかけるとか、格子にロープを渡して転落防止にするとかしたほうがよいと思います
医療の学生の(学生の出店商品の)売り込みがしつこく、見苦しかった。来場者が帰る見送りのときにも何度もしつこく回っていた。
(学生の出店は)保健所への届け出や確認は不要なのでしょうか。
駐車場係は、暑さ対策を考えた対策が必要です！(時間交代制にすべく要員を増やす。冷たいドリンクを手近に置く)

「ものづくり体験 2024」 開催報告書

全スタッフに朝一にドリンクを配布する。
体験中の教室での商品の売り込みをすべきでない。子供たちの集中が途切れる。
体験教室の黒板への商品売り込みの殴り書きのような板書はみっともない
イベント当日の教室の配置や体験者の動線などの情報を事前にほしい。

●感想

感想
自分が日々部活動で学んでいることを生かすことができた。次回も参加したい。
子供たちが楽しんでる様子を見て嬉しかった
子供達が喜んでくれて良かった。将来の選択肢を広げる一助になればと思っている。
人数が多い体験教室はとても大変なので人数制限が重要と感じた。
スタッフとして手伝ってくれた高校生の子供達への対応が良く、スムーズに進められました。次回もお願いしたいと思っています。
大学の特色を出した、子供達にとって貴重な体験のできるイベントであると感じました。参加させていただき、ありがとうございました。
自社の担当しかしていなかったが、子ども達の楽しそうな笑顔があったので参加してよかったと思う。今後も参加したい。
かなり良かったです。子供たちと触れ合うことがあまりなかったので、いい経験になりました。
(前々日が高校のオープンスクールの準備、前日がオープンスクールとものづくり体験の準備、当日がものづくり体験とその後片づけと負担が大きかったので、)次年度以降は日程的に配慮してほしい。
沢山の方々と関わる事が出来、とても有意義でした。
予想以上にたくさんの方が来てくださって、仕事のやり甲斐がとてもありました。挨拶をすると挨拶し返してくれて心地良かったです。達成感いっぱい終わることができたと思います。今後も続けばいいなと思います
沢山の、楽しそうな子どもたちや親御さんに触れることが出来て幸せでした。ありがとうございました。